

健康科学（スポーツテーピング実践）

科目責任者 村山晴夫
 学年・学期 1学年・2学期

I. 前文

本講義は、スポーツ外傷と応急処置に焦点をあて、スポーツテーピング（実技）を通して医学に触れるとともに健康の維持・向上の重要性を科学的視点から学習する。

※実習を伴う講義のため、受講者数の上限を6名とする。

II. 担当教員

准教授 村山晴夫（基盤教育部門）

III. 一般学習目標

“健康”を科学的視点で捉え、健康維持・向上に関する知識を深めるとともに、自分自身が適切かつ積極的な行動変容を実践できる能力を養う。

IV. 学修の到達目標

- 1) スポーツ外傷について理解する。
- 2) 応急処置法について理解し、その方法を習得する。

V. 授業計画及び方法 *（ ）内はアクティブラーニングの番号と種類

- （1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。）
 2：ディスカッション，ディベート 3：グループワーク 4：実習，フィールドワーク 5：プレゼンテーション
 6：その他 空欄：該当なし）

回数	月	日	曜日	時限	講義テーマ	担当者	アクティブラーニング
1	7	8	水	5	スポーツ外傷と応急処置（理論）	村山晴夫	2
2		15	水	5	スポーツテーピング（基礎）	〃	6 実技
3	8	19	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の基本）	〃	6 実技
4		26	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の基本）	〃	6 実技
5	9	2	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の応用）	〃	6 実技
6		9	水	5	スポーツテーピング（内反捻挫予防の応用）	〃	6 実技
7		9	水	6	総合復習（まとめ）	〃	6 実技

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

学習に対する姿勢・態度（60%），課題（ミニレポート等）（40%）

VII. 教科書・参考図書・AV資料

- 1) 必要な資料等は適宜指示する。

2) タブレット型もしくはノート型パソコンを使用します。

VIII. 質問への対応方法

随時、受け付ける (E-mail:hmurayam@dokkyomed.ac.jp)。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養，利他の精神，医師に求められる品格を身につけ，豊かな人間性を育み，他の医療者と協調して，多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び，情報・科学技術を活用して，生涯にわたって自ら問題を発見し，解決することができる	◎
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と，その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し，課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み，医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

適宜，必要に応じてフィードバックする（LMS，紙媒体等にて）。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（20分）：各授業時の内容に関する情報を収集し概観する。

事後学習（20分）：各授業時の内容から学んだことや思考したことを200文字程度にまとめ当日中に提出（LMS）。

XII. コアカリ記号・番号

PS-02-05-01, S-03-03-04, CM-01-01-01, CM-01-01-02